

トピックス

全肥商連とは

一般社団法人 全国肥料商連合会(略称:全肥商連)は、肥料の流通・普及を推進する、全国の肥料商の組合組織。全国肥料商業者の団結強化と肥料流通における信頼と責任の連鎖を図り、もって肥料並びに農業界、地域活性化の健全な発展に協力し、食の安心安全をはじめとする社会的要請に応えるよう努めることを目的として活動している。具体的には、全国研修会のほか施肥技術講習会を全国で開催するほか、40ある都道府県部会の活性化支援、出版事業などを行っている。1955(昭和30)年に任意団体として設立された全国肥料商連合会の事業を継承し、2011(平成23)年1月19日に法人化。今年1月17日に山森章二氏が会長に就任。



一般社団法人 全国肥料商連合会のホームページ

一般社団法人 全国肥料商連合会



所在地 〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-1
お茶の水K.Sビル3階
TEL 03-3817-8880
<http://www.zenpi.jp/>



静岡県肥料商業組合実行委員会
豊田富士雄実行委員長



農林水産省経営局就農・女性課
佐藤一絵課長

2日目は、青果流通の取り引きを取り組みに変える「ベジプロバイダー事業」で生産改革や流通改革を実践している(株)エムスクエア・ラボの加藤百合子社長の「農業はイノベーションの宝庫」と題しての講演会や、(公社)大日本報徳社の石野茂子理事による二宮

女子力に始まり、男女共通のテーマに発展した研修会

獲出来る」と大好評を得ている。「発想を変えれば、何かが見える」と心の柔軟性を大切にして顧客に喜ばれる成長を」と語った。

全国研修会を終えて山森会長は、「真のプロの意識と技量に裏打ちされた迫力ある講演やディスカッションは大変有意義で、心に刺さる内容だった。『女子力』というテーマで始まったが、女子と男子に区分けした考察と、女子・男子に共通する核心の議論が明確に分けて論じられ、その先の議論も深まり、自分も少し変わる良い

尊徳翁の教えと、それを継承、普及してきた岡田家四代についての講演会を、明治36年建築の日本最古の公会堂のひとつとして国の重要文化財に指定されている大日本報徳社大講堂を会場に開催した。

契機となった。全肥商連としても、今後とも会員の皆様に資する活動の拡充に努めて参りたい」と述べた。(文/江崎敦子)

農研機構(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構)の果樹茶業研究部門・茶品質機能性ユニット上級研究員の物部真奈美さんは、会場で参加者にきれいな緑色の「さえあかり」の水出し緑茶を呈茶した。爽やかな甘みの美味しい冷茶で、緑茶の健康機能性の研究者である物部さんによると、冷たい水で淹れる緑茶には免疫力を高め、リラックスを促す効果があるそうだ。

変化にしなやかに対応する農業経営へ

ルベリーファーム」で農福連携事業も手掛け、障害を持つ人々の就労と自立サポートだけでなく、後継者不足等の問題を抱える地元農家をお手伝いする援農にまで広がっている。

今まで結婚、育児、親の死とその時々に合わせて、しなやかに生き方を変えてきた。柔軟な思考と、目の前にある扉を開けていく行動力こそが女子力ではないか。プシない軸を持ち続けて、やってきた人しか見ることの出来ない景色がある。



250名の会員が2日間研修



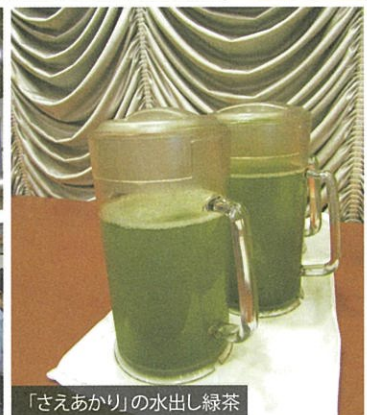
パネルディスカッションでの女性パネリスト3名



静岡県肥料商業組合 水谷久美子理事長(左)



大日本報徳社 大講堂にて



「さえあかり」の水出し緑茶

パネリストの女性3人の話を総括して、コメンテーターの佐藤一絵さん(農林水産省経営局就農・女性課課長)は、「これからの農業経営には、女性だけでなく男性にも、しなやかさが大事ではないかと思う。地域に根差した土地があったようにブレない軸を持ち、世の中の変化を恐れずに変えていくべき時はしなやかに変えていこう」とまとめた。

他にも、生産現場からの提言として肥料商としての立場からカネ八商店の加藤真八社長が登壇。一般の園芸愛好家に向けて簡単に楽しい野菜のコンテナ栽培の講習会を開催し、庭先で失敗しないで美味しいミニトマトが収

ら災害後医療に興味を持ち、大学で放射線生物学を学び直した。出来るだけ長く心身共に健康で暮らしていくために生活の中に策を見出したいと、現在は緑茶の飲用が生体へもたらす生理作用について調べている。日々の美味しい食生活で長く健康を維持出来る?」と模索しながら、目先の不安や失敗にとらわれず、目標を前に持っていくことでしなやかに柔軟な発想が得られてきたと話す。